

挨拶

会長 藤田 大介



設立以来、協会の運営と発展にご尽力されてきました有賀祐勝先生（東京水産大学名誉教授）の後を受けて、会長を務めさせていただくことになりました。海藻の利用は、古来、日本人の誇るべき文化の一つです。昨今、人類の健康と安心安全な暮らしの支えとして、海藻への様々な期待が、世界的な広がりの中で高まっています。一方で、気候の変動、沿岸環境の改変、世界的な海藻需要の増加に伴い、藻場や海藻資源を取り巻く状況も大きく変化しています。このような時代を迎え、日本の海藻業界をリードしてきた諸会員とともに、新たな文化の創造と発展に貢献できるよう、微力の限りを尽くしたいと思えます。

来る3月11日の東日本大震災では、我が国有数の海藻の産地である三陸沿岸をはじめ、各地が大きな被害を受けました。関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念致しております。また、彼の地のおいしい海藻が国民の食卓に届きますよう、会員一同、尽力して参りたいと思えます。

日本海藻協会の趣旨

日本海藻協会は、日本の海藻業界の発展を推進すると共に会員相互の情報交流と親睦を図ることを目的としています。

主な活動

・会報「海藻資源」の発行

応用海藻学分野の研究成果や海藻産業界の発展に役立つ貴重な情報（総説、報告、翻訳、その他の資料）を掲載しています。

・電子ニュース「e news SEaweeds」の発行

毎月1回発行し、協会からのお知らせ、海藻関連イベント情報、その他の情報を会員宛に送信しています。

・シンポジウム・講演会・講習会等の開催・助成

「秋季藻類シンポジウム」を開催し、一般市民を含む大勢の方々に参加いただいています。講演の概要は講演集として発行しています。

また、**国際海藻協会（International Seaweed Association, ISA）**が主催する**国際海藻シンポジウム（International Seaweed Symposium, ISS）**とも密接に連携して活動をしています。2007年には神戸で第19回国際海藻シンポジウム（19-ISS）を開催しました。

・親睦交流会の開催

毎年 1 回、会員会社の施設の見学を始め各地の海藻関連施設の訪問などを通じて、会員相互の理解と友情を深める有意義で楽しい機会を設けています。

会員の募集

日本海藻協会の会員は、協会の目的に賛同する団体または個人で、正会員（主に企業会員、年会費 30,000 円）または準会員（主に個人会員、年会費 10,000 円）のいずれかです。会員の区別の詳細は、別途、規約をご覧ください。応用海藻学あるいは海藻産業に関心をお持ちの方々の入会をお待ちしております。

設立の経緯

1999 年 2 月に国際海藻協会日本支部を母体として発足し、この目的に賛同する会員で構成され、会長、事務局長、幹事、監事で構成する運営委員会を中心に活動してきました。しかし、発足以来 8 年を経過する間に浮かび上がってきた種々の問題を解消するため、2007 年に抜本的な組織改革を行い、2008 年 1 月からは会員の中から 15 名の理事を選出し、理事会を中心として活動する体制に移行し今日に至っています。